

# 進路ジャーナル

青森県立森田養護学校  
進路指導部 No.10  
令和4年1月31日発行

令和4年がスタートしました。今年も、どうぞよろしくお願いします。

「卒業した先輩たちがどんな風に働いているのかきいてみたい」と感じている保護者の方も多いようです。例年であれば、保護者の皆様に施設や職場を見学していただき、卒業生の様子を見ていただくのですが、ここ数年、新型コロナウイルス感染症の影響でその機会も作ることができない状況です。

そこで、先日、高等部で行われた「先輩の話聞く会」から、B型事業所での働き方や就職後の生活について紹介します。今回、協力してくださったのは、五所川原市内にある就労継続支援B型に通う、2人の卒業生です。高等部の生徒たちからも、様々な質問が出されました。

Q1 勤務時間は何時から何時までですか？

A1 私が勤務している事業所(B型)は、午前10時から午後3時までです。

Q2 朝は何時頃家を出発しますか？ また、何時頃家に着きますか？

A2 朝は8時55分ころに出発し、夕方4時ころに家に着きます。

Q3 仕事をしている今と、高等部の時と比べて、どちらがいいですか？その理由も教えてください。

A3 今まで私がやった仕事は、食器の梱包、洋服の仕分け、商品の運搬、商品の値段付けなどです。

高等部のときと比べて、休みが少ない分、仕事をする日が多く、その分給料がもらえます。宿題や課題がないけれど学校にいるときよりも充実感があります。

Q4 今の夢や希望を教えてください。

A4 車の免許を取ることと、給料を貯めて、家族で船に乗って旅行に行きたいです。もうすぐ二十歳になるので、お母さんとお寿司屋さんでお酒を飲んでみたいと思っています。



Q1 朝は、毎日何時頃に起きて、家を出発するのは何時頃ですか？

A1 私は準備が早いので、毎朝8時ころに起きて、8時30分に送迎車に乗って出勤しています。

Q2 仕事が終わって、家に帰ってからどんなことをして過ごしていますか？

A2 家に帰ってからは手伝いをしています。冬はまず雪かきをします。ほかに、毎日食器洗いをしています。

Q3 お休みの日には、どんなことをして過ごしていますか？

A3 休日はゲームをして過ごすことが多いです。

Q4 卒業して働いてみてから、どんなことを感じていますか？

A4 働いていると大変なこともあります、楽しいこともたくさんあります。今は、夏休みや冬休みなどの長い休みが無くて、私は嬉しいです。あと、好きな髪型ができたり、好きな服を着たり、自由なことも多いので毎日が楽しいです。

Q5 今の目標を教えてください。

A5 今は、家計簿を付けられるようになったり、自分の給料で生活できるようになりたいと思っています。



## 高等部生からの質問



質問1 どうしたら働くための体力がつきますか？

先輩 エレベーターの無いビルで、5階まで荷物を運搬しています。5階まで歩いてのぼるのは疲れますが、少しずつ体力がついているように感じます。みなさんも、エレベーターやエスカレーターを使わずに階段を使ってみたらいいと思います。

質問2 仕事で気を付けていることは何ですか？

先輩 施設外へ仕事に行くこともあるので、忘れ物などないように確認をし、気を付けています。

質問3 学校にいるうちに身に付けておくことは何ですか？

先輩 言葉遣いです。なかなか直らないので、みなさんも今から気を付けておいた方がいいと思います。

質問4 一番大切な仕事は何ですか？

先輩 他の会社からの依頼もあり、その時によって作業内容が変わるので、それに対応するのが大変です。

質問5 働いていて、辛いと思うことは何ですか？

先輩 学校と違って、簡単に欠席できないので、生活リズムの維持や体調管理が大変です。

質問6 働いていて、疲れた時はどうしていますか？

先輩 私は、職場の休憩時間に携帯電話で音楽を聴きながら、歌を歌ってリフレッシュしています。

## 就労継続支援B型事業所の担当者さんからの話

二人の先輩が勤めている事業所は、五所川原市内に2カ所あり、「楽しく仕事をする」ことを目指しています。「楽しく」と言っても、これは遊ぶときの楽しさとは違います。働くことの楽しさを感じてほしいと思っています。

今日はみなさんに、私の事業所だけではなく、会社がどんな人を採用したいと思っているのかを紹介したいと思います。それは、正しい言葉遣いで話せることと、挨拶ができることです。

学校やお家では、友達言葉で話していても、社会では通用しません。行き過ぎた友達言葉は失礼になることもあります。また、挨拶はとても大切です。朝の挨拶も「おう！」ではなく、しっかりと「おはようございます」と言えることが大切です。言葉で挨拶できない人は、お辞儀だけでもいいので、しっかりと相手に挨拶していることを伝えましょう。さらに、返事も大切です。「うん」という返事ではなく、社会では「はい」「分かりました」という返事ができることが大切です。

これらができるようになることは、今からできる就活です。みなさんもがんばってみてください。

「先輩の話を知ろう」を終えて、進路指導として感じたこと。

ジャケットを着て、在学時よりも大人っぽい雰囲気であおいで来たお二人に、高等部の生徒たちは、緊張した表情で話を聞いていました。

今回、お招きした卒業生に限らず、在学中には、言葉遣いや返事の仕方など、注意されていても、なかなか直すことが難しいようです。それでも、働き始めると、言葉遣いや返事の大切さを痛感し、苦労しながら日々を過ごしていることが伝わってきました。また、毎日仕事を続ける中で、責任感も芽生え、忘れ物をしてはいけない、休まないようにしなければという思いで仕事に向かっている様子も伝わってきました。

在学中は、「なぜ働くのか」、「どんな風に働くのか」、ということについて、自分のこととして考えることは難しいかもしれませんが、お手伝いや学校の学習を通して、「働くこと」を意識して日々を過ごしていくことが大切だと感じました。みなさんは、どのように感じたでしょうか？